



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期の連結業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	387	△17.8	△619	—	△630	—	△632	—
2024年12月期	471	10.1	△1,209	—	△1,228	—	△1,290	—

（注）包括利益 2025年12月期 △632百万円（－％） 2024年12月期 △1,290百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	△13.19	—	△58.3	△32.8	△159.9
2024年12月期	△36.74	—	△128.3	△60.8	△256.5

（参考）持分法投資損益 2025年12月期 ー百万円 2024年12月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	2,169	1,435	66.1	26.44
2024年12月期	1,669	733	43.9	17.59

（参考）自己資本 2025年12月期 1,434百万円 2024年12月期 732百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	△493	△2	1,080	1,709
2024年12月期	△1,299	△10	567	1,126

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300	△22.6	△780	—	△800	—	△800	—	△14.75

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2025年12月期	54,251,712株	2024年12月期	41,625,512株
2025年12月期	286株	2024年12月期	286株
2025年12月期	47,928,429株	2024年12月期	35,118,450株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	387	△17.5	△566	—	△571	—	△622	—
2024年12月期	469	9.8	△1,167	—	△1,178	—	△1,339	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期	△12.99	—
2024年12月期	△38.15	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年12月期	2,128		1,397		65.6		25.75	
2024年12月期	1,615		686		42.4		16.45	

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,396百万円 2024年12月期 684百万円

2. 2026年12月期の個別業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	300	△22.6	△760	—	△760	—	△14.01	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表及び主な注記	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（眼科手術補助剤「ILM-Blue[®]、TissueBlue[™]、MembraneBlue-Dual[®]（以下、「ILM」等の製品）」（単剤及び配合剤）、緑内障治療剤「グラアルファ[®]配合点眼液（以下、「グラアルファ」）」等）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。「グラアルファ」は海外展開として、7月にタイ、12月にマレーシアで販売開始されました。

開発パイプラインについては、ライセンスアウト済み開発品であるフックス角膜内皮変性症治療剤「K-321」が2つのグローバル第Ⅲ相臨床試験を実施しており、いずれも被験者への投与を完了し経過観察を行いました。そのうちの1試験は、11月に観察期間を終了しデータ解析を進めております。共同開発品である神経疼痛治療薬「DW-5LBT」は3月に再申請を行い、9月に承認を取得いたしました。現在、販売提携先の選定等の上市準備を進めております。また、再生医療用細胞製品「DWR-2206」は、11月に国内第Ⅱ相臨床試験の被験者の観察期間が終了いたしました。現在、データ解析を行うと共に、第Ⅲ相臨床試験の準備を進めております。さらに、自社創製品「H-1129」は7月に免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬として開発を決定し、臨床試験に向けて準備を進めております。その他、各開発品についてもそれぞれ開発を進めました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び大学等との共同研究を積極的に推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計387百万円（前期比17.8%減）を計上し、売上原価に38百万円（前期比17.0%減）を計上しました。なお、「ILM」等の製品は、12月に米国以外の特許が満了しましたので、該当国のロイヤリティは終了いたしました。「グラナテック[®]点眼液0.4%」（海外）についてもロイヤリティは終了いたしました。

販売費及び一般管理費については、968百万円（前期比40.7%減）となりました。その内訳は、研究開発費が669百万円（前期比51.0%減、前期は「H-1337」及び「DWR-2206」の臨床試験を実施）、その他販売費及び一般管理費が人件費の増加等により298百万円（前期比12.1%増）となりました。

これらにより、営業損失は619百万円（前期営業損失1,209百万円）、経常損失は630百万円（前期経常損失1,228百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は632百万円（前期親会社株主に帰属する当期純損失1,290百万円）となりました。

なお、当連結会計年度における新薬候補化合物開発状況は次のとおりです。

①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先
ILM-Blue [®] 、TissueBlue [™] (注)	ブリリアントブルーG	内境界膜染色	欧州・米国等	DORC
MembraneBlue-Dual [®] (注)	ブリリアントブルーG/ トリパンプルー	内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色	欧州等	
グラアルファ [®] 配合点眼液	リバスジル塩酸塩水和物 /ブリモニジン酒石酸塩	緑内障・高眼圧症	日本・アジア	興和

(注) 12月に米国以外の特許が満了し、該当国のロイヤリティは終了いたしました。

②開発パイプライン

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
K-321	リバスジル塩酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	米国、欧州等	興和
DW-1002	ブリリアントブルーG	内境界膜染色	日本	わかもと製薬
		水晶体前囊染色	日本	
	ブリリアントブルーG/トリパンプルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	米国

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
DW-1001	眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬
H-1337	緑内障・高眼圧症	後期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発
H-1129	免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬（非開示）	臨床準備中	日本	自社開発
DW-5LBT （商標名：Bondlido）	帯状疱疹後の神経疼痛	承認	米国	メドレックスと共同開発
DWR-2206	水疱性角膜症	第Ⅱ相臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発

(イ) ILM-Blue[®]、TissueBlue[™]、MembraneBlue-Dual[®]、DW-1002（ILM-Blue[®]、TissueBlue[™]、DW-1002（単剤）の対象疾患：内境界膜染色、水晶体前囊染色、MembraneBlue-Dual[®]、DW-1002（配合剤）の対象疾患：内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色）

本開発品は、国立大学法人九州大学の研究グループが発見したBBG250（Brilliant Blue G-250）という染色性の高い色素を主成分とした眼科手術補助剤について、独占的ライセンスに基づき開発している開発品で、眼内にある内境界膜又は水晶体を保護するカプセルを一時的に安全に染色し、硝子体・白内障の手術を行いやすくするものです。当社は、2017年に本事業を譲受いたしました。

日本以外の全世界向けの独占的なサブライセンスをDutch Ophthalmic Research Center International B. V.（以下、DORC）に付与しており、DORCは2010年から欧州等において、ILM-Blue[®]、MembraneBlue-Dual[®]の製品名で製造・販売しております。2020年には米国においても単剤であるTissueBlue[™]の販売を開始し、配合剤については、内境界膜及び網膜上膜染色を対象に米国でオーファンドラッグ指定を受け、現在承認申請に向けて準備を進めております。なお、2025年12月の特許満了に伴い、米国以外のロイヤリティは終了いたしました。

国内については、わかもと製薬株式会社（以下、わかもと製薬）に独占的ノウハウライセンス条項付製品供給契約を付与しており、わかもと製薬は硝子体手術時の内境界膜染色、白内障手術時の水晶体前囊染色を対象として、製造販売承認の取得に向けて開発を進めております。なお、2025年12月に日本の特許は満了しております。

(ロ) グラアルファ[®]配合点眼液、K-321

(a) グラアルファ[®]配合点眼液（対象疾患：緑内障・高眼圧症）

本剤は、リパスジル塩酸塩水和物とブリモニジン酒石酸塩を含有する世界で初めての組み合わせの配合点眼剤です。リパスジル塩酸塩水和物はプロテインキナーゼの一種であるRhoキナーゼを選択的に阻害する当社が創製したイソキノリンスルホンアミド化合物です。2020年より、興和にて緑内障・高眼圧症を適応症として国内第Ⅲ相臨床試験が行われ、2022年に国内上市されました。さらに、海外展開も進められ、アジア一部地域において上市されております。

(b) K-321（対象疾患：フックス角膜内皮変性症）

当社が発明したリパスジル塩酸塩水和物は、眼内にあるキナーゼに作用する可能性があることが示唆されており、適応拡大に向けた取り組みとして、フックス角膜内皮変性症を適応症とした米国第Ⅱ相臨床試験が2019年から開始されました。その後、2022年に米国第Ⅲ相臨床試験を開始、2023年に米国を含めたグローバル第Ⅲ相臨床試験が開始されました。被験者への投与は完了しており、経過観察が行われております。フックス角膜内皮変性症は病態の進行に伴い角膜内皮障害に至ります。重度の視覚障害を有する角膜内皮疾患のこれまでの治療法は角膜移植であり、有効な治療薬の開発が望まれています。

(ハ) DW-1001（対象疾患：非開示）

本開発品は、2015年に英国企業から導入した眼科用治療剤です。

他の疾患を適応症として既に市販されている化合物を眼科適応への適応拡大を目指す、いわゆるリポジショニングの手法での開発を目指しており、開発のコスト並びにリスクは相対的に低くなることが期待されます。

2019年に日本における独占的実施権をロート製薬株式会社（以下、ロート製薬）にライセンスアウトいたしました。ロート製薬は、非臨床試験を進め、2022年に国内第Ⅰ相臨床試験が良好な結果で終了いたしました。

(ニ) H-1337 (対象疾患：緑内障・高眼圧症)

本開発品は、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とする当社化合物ライブラリーのリード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を対象疾患とする開発品です。当社初となる自社臨床開発を行っており、2018年に米国第Ⅰ相/前期第Ⅱ相臨床試験を良好な結果で終了いたしました。その後、2024年8月に米国後期第Ⅱ相臨床試験を終了いたしました。試験結果は良好で、本開発品の有効性が確認され、安全性に関して重篤な有害事象は認められませんでしたので、第Ⅲ相臨床試験に向けた準備並びにライセンスアウト活動を進めております。

また、適応拡大の研究を進めており、滲出型加齢黄斑変性に対する治療効果、並びに肺高血圧に対する治療効果も動物試験において確認されております。

(ホ) H-1129 (対象疾患：免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬 (非開示))

本開発品は、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とする当社化合物ライブラリーのリード化合物を基にして最適化された開発品です。2019年まで緑内障治療剤として開発を行っていましたが、国内第Ⅲ相臨床試験にて開発中止となりました。その後、知的財産の有効活用及びキナーゼ阻害剤のポテンシャル発揮の観点から、他疾患への適用を検討し、新たに免疫異常を基盤とする角結膜疾患治療薬として開発を決定いたしました。現在、臨床試験に向けた準備を進めております。

(ヘ) DW-5LBT (対象疾患：帯状疱疹後の神経疼痛)

本開発品は、イオン液体を利用した株式会社メドレックス (以下、メドレックス) の独自技術ILTS (Ionic Liquid Transdermal System) を用いた新規のリドカインテープ剤であり、リドカインパップ剤Lidodermの市場をターゲットとし、更なる新規市場への拡大も目指して開発した製品です。メドレックスが帯状疱疹後の神経疼痛治療薬として開発を進め、当社は2020年に共同開発を開始いたしました。その後、2025年9月に承認取得し、現在、販売提携先の選定等の上市準備を進めております。

(ト) DWR-2206 (対象疾患：水疱性角膜炎)

本開発品は、水疱性角膜炎を適応症とした再生医療用細胞製品で、培養ヒト角膜内皮細胞とROCK阻害剤を含有した懸濁液を前房内に注入し、角膜内皮の再生の治療に用いられます。アクチュアライズ株式会社が開発を進めており、当社は2022年に共同開発を開始いたしました。当社初となる再生医療品であり、2024年3月に国内第Ⅱ相臨床試験を開始し、2025年11月に被験者の観察期間が終了いたしました。現時点において、安全性については、重要な有害事象及び被験製品との因果関係が否定できない重篤な有害事象は発現しておらず、有効性については、視力改善が示唆されています。現在、データ解析を進めると共に、第Ⅲ相臨床試験の準備を進めております。

③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や免疫・炎症系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所 (国立大学法人三重大学の研究施設) において行っております。また、大学等との共同研究においては、当社開発品の適応拡大や主に眼科関連疾患を対象に複数のプロジェクトを積極的に進めております。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末から500百万円増加し、2,169百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から544百万円増加し、2,020百万円となりました。主な要因は、貯蔵品が15百万円減少した一方で、新株予約権の行使等により現金及び預金が583百万円増加したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から44百万円減少し、149百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が41百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から201百万円減少し、734百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から71百万円増加し、203百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が80百万円増加したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から272百万円減少し、530百万円となりました。この要因は、長期借入金が29百万円増加した一方で、社債が302百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から701百万円増加し、1,435百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が632百万円減少した一方で、新株予約権の行使等により資本金及び資本

剰余金が各々667百万円増加したこと等によるものです。なお、第27期定時株主総会の決議に基づき、資本金1,173百万円、資本準備金2,647百万円をそれぞれその他資本剰余金へ振り替え、当該その他資本剰余金3,821百万円を利益剰余金に振り替え欠損填補を行いました。これによる純資産合計に変動はありません。

この結果、自己資本比率は66.1%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ583百万円増加し、1,709百万円となりました。

なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は493百万円（前期は1,299百万円の支出）となりました。これは主に減価償却費47百万円、株式報酬費用39百万円等があった一方で、税金等調整前当期純損失630百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2百万円（前期は10百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は1,080百万円（前期は567百万円の収入）となりました。これは主に社債の償還による支出302百万円があった一方で、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,267百万円及び長期借入れによる収入135百万円があったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

売上高は、各上市品のロイヤリティ収入及び「DW-1002」のマイルストーン収入等により300百万円（当期売上高387百万円）を見込んでおります。

研究開発費は、通常の新薬候補品創出に向けた研究開発活動に加え、「H-1337」の米国第Ⅲ相臨床試験の準備及び「H-1129」の臨床試験の準備費用等により780百万円（当期研究開発費669百万円）を見込んでおります。

その結果、営業損失は780百万円（当期営業損失619百万円）、経常損失は800百万円（当期経常損失630百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は800百万円（当期親会社株主に帰属する当期純損失632百万円）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、創薬研究及び臨床開発費用が収益に先行して発生する等の事業特性上の理由から継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループは保有する開発パイプラインの順調な開発進捗による早期上市、開発パイプラインの拡充による更なる収益機会の獲得を進め、さらに、現在実施している資金調達を進めることにより研究開発に必要な資金を確保してまいります。

資金面においては、継続的なロイヤリティ収入及び開発費用のコントロール並びに主力金融機関からの借入、第三者割当による新株予約権の行使等、適時に実施している資金調達により、当連結会計年度末において1,709百万円の現金及び預金残高を有し、当面の事業活動を展開するための資金は確保できております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,126,035	1,709,790
売掛金	125,023	94,502
貯蔵品	101,961	86,921
その他	122,361	128,871
流動資産合計	1,475,382	2,020,086
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,727	8,727
減価償却累計額	△5,453	△5,695
建物(純額)	3,274	3,032
工具、器具及び備品	109,498	112,628
減価償却累計額	△101,580	△106,440
工具、器具及び備品(純額)	7,917	6,188
有形固定資産合計	11,192	9,221
無形固定資産		
契約関連無形資産	41,142	—
その他	3,290	2,355
無形固定資産合計	44,432	2,355
投資その他の資産		
投資有価証券	142,806	142,677
その他	8,236	7,598
貸倒引当金	△12,606	△12,477
投資その他の資産合計	138,436	137,798
固定資産合計	194,061	149,375
資産合計	1,669,444	2,169,461
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	19,048	99,048
未払金	84,904	66,380
未払法人税等	14,876	618
その他	13,818	37,835
流動負債合計	132,646	203,882
固定負債		
長期借入金	476,428	506,130
社債	302,500	—
その他	24,000	24,000
固定負債合計	802,928	530,130
負債合計	935,574	734,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,203,277	697,340
資本剰余金	3,261,516	1,280,933
利益剰余金	△3,732,678	△543,564
自己株式	△0	△0
株主資本合計	732,115	1,434,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△34
その他の包括利益累計額合計	△34	△34
新株予約権	1,788	774
純資産合計	733,869	1,435,449
負債純資産合計	1,669,444	2,169,461

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	471,580	387,620
売上原価	46,843	38,860
売上総利益	424,736	348,760
販売費及び一般管理費		
研究開発費	1,367,769	669,775
その他	266,565	298,855
販売費及び一般管理費合計	1,634,335	968,630
営業損失(△)	△1,209,598	△619,870
営業外収益		
受取利息	76	2,064
為替差益	1,637	7,923
その他	359	232
営業外収益合計	2,073	10,220
営業外費用		
支払利息	5,210	8,815
株式交付費	2,468	4,942
新株発行費	8,686	6,008
その他	4,207	1,076
営業外費用合計	20,571	20,842
経常損失(△)	△1,228,097	△630,491
特別損失		
転換社債償還損	60,612	—
特別損失合計	60,612	—
税金等調整前当期純損失(△)	△1,288,709	△630,491
法人税、住民税及び事業税	1,595	1,595
法人税等合計	1,595	1,595
当期純損失(△)	△1,290,305	△632,087
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,290,305	△632,087

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純損失(△)	△1,290,305	△632,087
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	—
その他の包括利益合計	1	—
包括利益	△1,290,303	△632,087
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,290,303	△632,087
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	831,617	2,889,857	△2,442,372	△0	1,279,101
当期変動額					
新株の発行	371,659	371,659			743,319
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△1,290,305		△1,290,305
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	371,659	371,659	△1,290,305	—	△546,986
当期末残高	1,203,277	3,261,516	△3,732,678	△0	732,115

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△36	△36	699	1,279,764
当期変動額				
新株の発行				743,319
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△1,290,305
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1	1	1,089	1,090
当期変動額合計	1	1	1,089	△545,895
当期末残高	△34	△34	1,788	733,869

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,203,277	3,261,516	△3,732,678	△0	732,115
当期変動額					
新株の発行	667,340	667,340			1,334,681
資本金から剰余金への振替	△1,173,277	1,173,277			—
欠損填補		△3,821,200	3,821,200		—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△632,087		△632,087
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△505,936	△1,980,582	3,189,113	—	702,594
当期末残高	697,340	1,280,933	△543,564	△0	1,434,709

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△34	△34	1,788	733,869
当期変動額				
新株の発行				1,334,681
資本金から剰余金への振替				—
欠損填補				—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)				△632,087
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	△1,013	△1,013
当期変動額合計	—	—	△1,013	701,580
当期末残高	△34	△34	774	1,435,449

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△1,288,709	△630,491
減価償却費	49,329	47,519
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,305	△129
株式報酬費用	17,003	39,899
転換社債償還損	60,612	—
受取利息	△76	△2,064
支払利息	5,210	8,815
支払手数料	152	9
為替差損益 (△は益)	△1,570	146
株式交付費	2,468	4,942
新株発行費	8,686	6,008
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,879	30,521
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,098	15,039
未払金の増減額 (△は減少)	△74,766	△19,249
その他	△50,059	14,254
小計	△1,292,392	△484,777
利息及び配当金の受取額	76	1,949
利息の支払額	△5,197	△9,083
法人税等の支払額	△1,605	△1,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,299,118	△493,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,025	△2,745
無形固定資産の取得による支出	△1,100	—
差入保証金の増減額 (△は増加)	120	298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,005	△2,447
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	226,000	135,000
長期借入金の返済による支出	△9,524	△25,298
社債の発行による収入	660,000	—
社債の償還による支出	△357,500	△302,500
転換社債の償還による支出	△666,734	—
新株予約権の発行による収入	6,370	5,200
新株予約権の行使による株式の発行による収入	710,030	1,267,654
自己新株予約権の取得による支出	△699	—
支払手数料の支払額	△313	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	567,628	1,080,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	266	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△741,229	583,755
現金及び現金同等物の期首残高	1,867,264	1,126,035
現金及び現金同等物の期末残高	1,126,035	1,709,790

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、創業事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

オランダ	日本	その他	合計
335,476	136,097	5	471,580

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	335,476
興和株式会社	126,036

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載しておりません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

オランダ	日本	その他	合計
327,224	60,076	319	387,620

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高
Dutch Ophthalmic Research Center International B.V.	327,224
興和株式会社	60,051

(注) 当社は、単一セグメントであるため、関連するセグメント名は記載していません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	17.59円	26.44円
1株当たり当期純損失(△)	△36.74円	△13.19円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,290,305	△632,087
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,290,305	△632,087
普通株式の期中平均株式数(株)	35,118,450	47,928,429
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第12回新株予約権 新株予約権の数36,500個 (普通株式 3,650,000株)	第13回新株予約権 新株予約権の数14,898個 (普通株式 1,489,800株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,072,785	1,669,212
売掛金	124,941	94,419
貯蔵品	101,953	86,912
前渡金	35,667	59,175
前払費用	21,439	28,975
関係会社短期貸付金	100,000	150,000
その他	64,605	39,460
貸倒引当金	△100,000	△150,000
流動資産合計	1,421,393	1,978,156
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,274	3,032
工具、器具及び備品	7,917	7,441
有形固定資産合計	11,192	10,474
無形固定資産		
ソフトウェア	3,217	2,283
契約関連無形資産	41,142	—
その他	72	72
無形固定資産合計	44,432	2,355
投資その他の資産		
投資有価証券	142,806	142,677
関係会社株式	0	0
その他	8,236	7,598
貸倒引当金	△12,606	△12,477
投資その他の資産合計	138,436	137,798
固定資産合計	194,061	150,628
資産合計	1,615,455	2,128,784
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	19,048	99,048
未払金	84,533	65,864
未払費用	4,591	33,626
未払法人税等	14,257	—
預り金	3,647	2,475
流動負債合計	126,077	201,013
固定負債		
長期借入金	476,428	506,130
社債	302,500	—
その他	24,000	24,000
固定負債合計	802,928	530,130
負債合計	929,005	731,143

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,203,277	697,340
資本剰余金		
資本準備金	3,302,619	1,322,036
資本剰余金合計	3,302,619	1,322,036
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△3,821,200	△622,475
利益剰余金合計	△3,821,200	△622,475
自己株式	△0	△0
株主資本合計	684,695	1,396,901
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△34	△34
評価・換算差額等合計	△34	△34
新株予約権	1,788	774
純資産合計	686,449	1,397,640
負債純資産合計	1,615,455	2,128,784

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	469,923	387,595
売上原価	46,843	38,860
売上総利益	423,080	348,735
販売費及び一般管理費		
研究開発費	1,351,067	640,640
その他	239,118	274,725
販売費及び一般管理費合計	1,590,185	915,365
営業損失(△)	△1,167,105	△566,630
営業外収益		
受取利息	1,070	4,217
為替差益	1,637	7,923
受取手数料	3,600	3,600
その他	352	232
営業外収益合計	6,660	15,973
営業外費用		
支払利息	5,210	8,815
株式交付費	2,468	4,942
新株発行費	8,686	6,008
その他	1,458	1,076
営業外費用合計	17,823	20,842
経常損失(△)	△1,178,267	△571,498
特別損失		
貸倒引当金繰入額	100,000	50,000
転換社債償還損	60,612	—
特別損失合計	160,612	50,000
税引前当期純損失(△)	△1,338,880	△621,498
法人税、住民税及び事業税	977	977
法人税等合計	977	977
当期純損失(△)	△1,339,857	△622,475

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	831,617	2,930,959	2,930,959	△2,481,343	△2,481,343	△0	1,281,233
当期変動額							
新株の発行	371,659	371,659	371,659				743,319
当期純損失(△)				△1,339,857	△1,339,857		△1,339,857
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	371,659	371,659	371,659	△1,339,857	△1,339,857	—	△596,538
当期末残高	1,203,277	3,302,619	3,302,619	△3,821,200	△3,821,200	△0	684,695

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計		
当期首残高	△36	△36	699	1,281,896
当期変動額				
新株の発行				743,319
当期純損失(△)				△1,339,857
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1	1	1,089	1,090
当期変動額合計	1	1	1,089	△595,447
当期末残高	△34	△34	1,788	686,449

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	1,203,277	3,302,619	—	3,302,619	△3,821,200	△3,821,200	△0	684,695
当期変動額								
新株の発行	667,340	667,340		667,340				1,334,681
資本金から剰余金への振替	△1,173,277		1,173,277	1,173,277				—
準備金から剰余金への振替		△2,647,923	2,647,923	—				—
欠損填補			△3,821,200	△3,821,200	3,821,200	3,821,200		—
当期純損失(△)					△622,475	△622,475		△622,475
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△505,936	△1,980,582	—	△1,980,582	3,198,724	3,198,724	—	712,205
当期末残高	697,340	1,322,036	—	1,322,036	△622,475	△622,475	△0	1,396,901

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計		
当期首残高	△34	△34	1,788	686,449
当期変動額				
新株の発行				1,334,681
資本金から剰余金への振替				—
準備金から剰余金への振替				—
欠損填補				—
当期純損失(△)				△622,475
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	△1,013	△1,013
当期変動額合計	—	—	△1,013	711,191
当期末残高	△34	△34	774	1,397,640